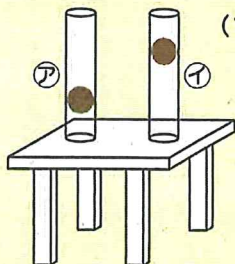


### ジュニア防災検定に挑戦

- ① 地震が起ると、棚が倒れたり、収めていた物が落ちたりする危険がある。



(1) プラスチック製の軽い筒に、図のように丸めた粘土を入れた。机を揺らした時、倒れやすいのはどちらだろうか。

- (2) ジュースが入った瓶、タオル、本、プラスチック製の容器を棚に収める時、何段目に何を入れると倒れにくいだろう。ただし各段に1種類を入れる。



- ② 1959年9月に紀伊半島に上陸し、多くの犠牲者を出した伊勢湾台風。被害を大きくした原因の一つは、災害が夜遅くに起きたことだといふ。夜遅い時間だと、なぜ被害が大きくなるのか理由を説明しよう。

※防災検定協会提供の例題を基に作成

＜答え＞ ① (1) イ (2) 上の段からタオル、プラスチック製の容器、本、ジュースが入った瓶の順に人が寝ている時間なので、避難するための準備が素早くできないから(回答例による解答例)

多くの命を奪った広島土砂災害が発生して1カ月。もし身近で同じことが起こったら一と考へた人もいるだろう。被害を減らす「減災」の工夫や避難方法について、もっと学ぶ必要がありそうだ。昨年12月に始まった「ジュニア防災検定」に挑戦しよう＝1面関連。(奥田美奈子)

## 広島土砂災害1カ月

### 「減災」方法意識付け

例題②は、検定を実施している防災検定協会(東京)の提供。本来は初級▽中級▽上級の3コースあり、そのうち今回は初級コースを用意した。理由を考え、言葉で表現することで防災意識の定着が図られるという。

問題①では地震を想定。棚を倒れにくくするには、金具や突っ張り棒で固定するだけでなく、収納の仕方にも工夫が必要

問題②では地震を想定。棚を倒れにくくするには、金具や突っ張り棒で固定するだけでなく、収納の仕方にも工夫が必要

例題②は、検定を実施している防災検定協会(東京)の提供。本来は初級▽中級▽上級の3コースあり、そのうち今回は初級コースを用意した。理由を考え、言葉で表現することで防災意識の定着が図られるという。

検定では筆記試験だけでなく、防災に関する作文や壁新聞などの課題もある。検定料2千3千円。受験希望者は同協会のホームページ(HP)から申し込む。HPアドレスは、<http://www.jdk.jp.net>

# 挑もう防災検定

広経大の松井教授(災害情報論)に聞く

## 避難行動 具体的イメージ大切

防災検定協会の評議員の一人、広島経済大の松井一洋教授(災害情報論)＝写真＝に、防災学習の必要性について聞いた。

広島土砂災害や東日本大震災など、全国各地で災害が相次ぎ、科学者の間では「21世紀は災害の世紀」との声もある。危機から抜け出し、生き抜く力を身に付けてほしい。災害に強い社会をつくるには、一人一人が高い防災意識を持つことが欠かせない。

防災の基本はまず、自分で自分を守る「自助」。災

害が起きたら、どう逃げるかを具体的にイメージしておこう。心に備えがあれば、いざというとき、避難行動のスイッチがすぐオンになる。冷静な判断もつながらる。

残念ながら、学校では、防災について学ぶ機会が少ない。この検定の受検を目標に、本やインターネットで情報を集めたり、家族と話し合ったりしてみよう。

